

フスコブロン配合シロップ

【この薬は？】

販売名	フスコブロン配合シロップ HUSCOBRON Combination Syrup
一般名	ジヒドロコデインリン酸塩 Dihydrocodeine Phosphate <i>d</i> l-メチルエフェドリン塩酸塩 <i>d</i> l-Methylephedrine Hydrochloride クロルフェニラミンマレイン酸塩 Chlorpheniramine Maleate
含有量 (10mL中)	ジヒドロコデインリン酸塩 30mg <i>d</i> l-メチルエフェドリン塩酸塩 60mg クロルフェニラミンマレイン酸塩 12mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、鎮咳剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、咳中枢に作用して、咳を鎮めます。
- ・次の目的で処方されます。

下記疾患に伴う咳嗽

急性気管支炎、慢性気管支炎、感冒・上気道炎、肺炎、肺結核

- ・この薬は、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重篤な呼吸抑制のある人
- ・12歳未満の小児
- ・過去にアヘンアルカロイド（モルヒネ、オキシコドン、コデインなど）で過敏症のあった人
- ・閉塞隅角緑内障の人
- ・前立腺肥大などの下部尿路に閉塞性疾患のある人
- ・カテコールアミン製剤（アドレナリン、イソプロテレノールなど）を使用している人
- ・18歳未満の肥満、閉塞性睡眠時無呼吸症候群または重篤な肺疾患のある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・気管支喘息の発作をおこしている人
- ・心機能障害や呼吸機能障害のある人
- ・肝機能障害や腎機能障害のある人
- ・脳に器質的障害のある人
- ・ショック状態にある人
- ・代謝性アシドーシス（重篤な代謝の異常により、血液が酸性に傾くこと）のある人
- ・甲状腺機能に異常がある人
- ・副腎皮質機能低下症（アヅシン病など）の人
- ・過去に薬物依存のあった人
- ・高齢の人や衰弱している人
- ・高血圧症の人
- ・糖尿病の人
- ・開放隅角緑内障の人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人

○この薬には併用してはいけない薬[カテコールアミン製剤（アドレナリン（ボスミン）、イソプロテレノール（プロタノールなど）など]や、併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[成人の場合]

1日量	10mL
飲む回数	1日量を3回に分けて飲みます

[小児の場合]

年齢	1日量	飲む回数
12歳以上 15歳未満	成人量の2/3	1日量を3回に分けて飲みます

●どのように飲むか？

決められた1回量を、計量カップ、スポイトなどではかり、飲んでください。

●効果が不十分な場合の対応

この薬の効果が不十分な場合は、使用が中止されます。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。飲み忘れた場合は、気がついた時点で1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次の飲む時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・過度の使用を続けた場合、不整脈、場合によっては心停止を起こすおそれがありますので、使用が過度にならないように注意してください。
- ・眠くなったり、めまいが起こったりすることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・アルコールを含む飲食物はこの薬の作用を強めることがありますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
無顆粒球症 むかりゆうきゆうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
呼吸抑制 こきゅうよくせい	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	突然の高熱、寒気、体がだるい、出血が止まりにくい、発熱
頭部	めまい
口や喉	喉の痛み

部位	自覚症状
胸部	息切れ、動悸、呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
皮膚	あおあざができる

【この薬の形は？】

形状	シロップ剤
色	淡褐色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ジヒドロコデインリン酸塩 dl-メチルエフェドリン塩酸塩 クロルフェニラミンマレイン酸塩
添加物	カラメル、サッカリンナトリウム水和物、精製白糖、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸ブチル、pH 調節剤、香料

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：武田テバファーマ株式会社 (<http://www.takeda-teva.com>)

武田テバ DI センター

TEL : 0120-923-093

受付時間：9：00～17：30（土日祝日・弊社休業日を除く）